

埋め込み式でも中心筒の空間を利用して
メンテナンス(インナーメンテ)が可能になりました。

狭小地でも設置可能

中心筒昇降型ドロップシャフト

特長

手すり

ステップ

水の流れ

ドロップシャフト

中心筒内
中間スラブ



中心筒内に中間
スラブがあるため
安心です。

※立坑最小内径

底板現場施工

底板は現場打設なので、コストを削減できます。

マンホール内中間スラブ

中心筒内に
降下するための
踊り場で流入部の
確認ができます。



中心筒(φ900)

昇降部と水流部が分離
しているため、安全に
昇降できます。
※水が流れている中での昇降は
できません。



最下部梯子

流下時、最下部の梯子は中心筒に格納し、昇降時のみ使用します。



梯子格納状態



ドロップシャフト内部からマンホール底部への
昇降が可能となります。

施工事例 広島市(千田地区下水道築造29-16号工事)



ドロップシャフトを
工事現場に搬入

ドロップシャフトの中心筒
(ステップとスラブ)

ドロップシャフトを
立坑内に搬入

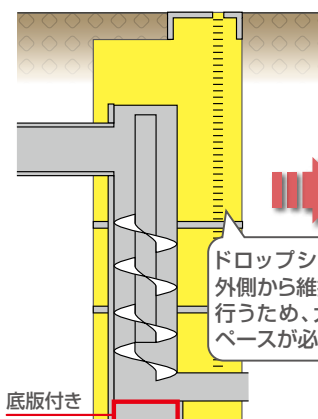
ドロップシャフトを
立坑内に搬入後

中心筒をクレーンで
吊り上げ

マンホール内
中間スラブの設置完了

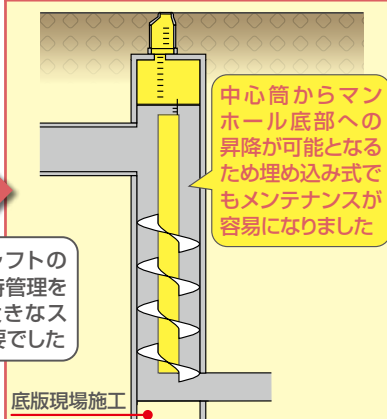
狭小地に設置可能

従来型(アウターメンテ)



ドロップシャフトの
外側から維持管理を
行うため、大きなス
ペースが必要でした

狭小地対応中心筒昇降型(インナーメンテ)



中心筒からマン
ホール底部への
昇降が可能となる
ため埋め込み式で
もメンテナンスが
容易になりました

- ・従来の必要人孔スペースに比べて約50%以上縮小可能です。
- ・設計流量は1基あたり約13m³/sまで対応が可能です。
(従来と同等)

呼び径 (mm)	中心筒径 (mm)	設計流量 (m ³ /s)	立坑最小内径※ (mm)
1500	900	2.272	1800~
1650	900	2.884	1900~
1800	900	3.585	2100~
2000	900	4.665	2300~
2200	900	5.920	2500~
2400	900	7.359	2700~
2600	900	8.990	2900~
2800	900	10.819	3200~
3000	900	12.856	3400~

- ※印は立坑の鉛直度が90度時の内径を示します。
鉛直度を考慮して内径を決定してください。
- 呼び径φ1350以下は通常のドロップシャフト
(中心筒外径が本体内径の1/3)となります。

水理模型実験



- 中心筒内部を大きくしても、
従来通りの流量が流下でき
ることを水理模型実験にて確認
しています。※



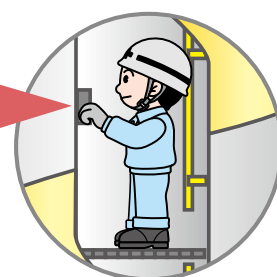
- ・上流側への背水影響なし
- ・空気連行率5%以下

従来の形状と水理性能は同等

※弊社実験における測定結果です。

点検窓(オプション部材)

- 中心筒内部に点検窓(φ200mm)の
設置が可能



流路部の確認が目視で可能

SEKISUI 環境・ライフラインカンパニー

エスロンタイムズ
<https://eslontimes.com>

二次元コードで
アクセスはコチラ!



専用の管理ページでさらに便利に!
あなただけのエスロンタイムズ

MYエスロン®

※製品の色調は実物とは異なる場合があります。
※記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2019年 4月 初 版
2025年 9月 改訂2版-0刷

中心筒昇降型ドロップシャフト
リーフレット

積水化学工業株式会社
給排水インフラ事業部

ツールコード

No. 06534

2025. 9. 0TH TX